

事業名	児童館等施設整備事業
-----	------------

総事業費	4,814 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		施設利用時の安全を確保する。
事業の実績 と 成果	取組内容	かもめ児童館の遊戯室（床・内壁）補強工事の実施。
	成 果	利用児童に安心して遊べる場の提供をすることができ、児童利用数の増加に繋がっている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	単年度事業のため、令和元年度にて事業終了。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	老朽化により、かもめ児童館に遊戯室の床がはがれてきていて危険であるため、子どもの施設利用時の安全を確保するために、床の補強と同室の内壁補強を行ったものである。工事の完了により、その目的は達成されたと思われる。 また、本施設は災害時の緊急避難所としても指定されているため、今後も安心・安全な施設として維持管理を行っていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	単年度事業のため、令和元年度にて事業終了
-----------	----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	児童館管理事業
-----	---------

総事業費	14,872 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童及び母親クラブ等が遊びや地域組織活動の場として利用できる。
事業の実績 と 成果	取組内容	かもめ児童館・美浜児童センターにおいて、指導者2名をおき、児童及び母親クラブ等に遊びや地域組織活動の場を提供している。
	成 果	少子化が進み、児童数が著しく減少する中、利用者数を維持し、安心して遊べる場所として定着している。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	児童の特性や問題行動に対して指導者の負担も増大している。環境整備も含め施設利用等について、指定管理者と定期的な協議をしていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	子どもに健全な遊びを与える場として定着してきている。 子どもの減少や活動の場の多様化により利用者が減少傾向にあったが、施設整備等の効果で今年度は利用者数も増加した。 引き続き、安心・安全な維持管理を行っていきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	かもめ児童館・美浜児童センターにおいて、指導者2名をおき、子ども達に適切な遊びの指導を行うとともに、環境整備も進めながら、異年齢の子供たちが安心して活動できる場所として提供していく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	一時預かり事業
-----	---------

総事業費	14,872 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		保護者の育児に関する不安を解消し、安心して社会参加、治療、就労等に専念できるようにする。
事業の実績 と 成果	取組内容	保育所を利用していない家庭において、保護者の社会参加や疾病等により、一時的に家庭での保育が困難となった場合、保育所や認定こども園において一時的に保育を受ける。この事業に対し、補助金を交付する。
	成 果	就学前児童数は減少傾向にあるが、一時預かり事業に対するニーズは高く、幼稚園型（認定こども園・幼稚園）の利用実績は増加している。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	現在補助を受けて実施しているところは、認定こども園2園、幼稚園1園と保育所2か所である。保育所では自主事業で実施しているところもあるが、保育士の配置が困難であるため補助対象となっていない。保育所については、入所児童の空きがないと受入れできないため、利用数が減少傾向にある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	保育所を利用していない家庭において、保護者の社会参加や疾病等により、一時的に家庭での保育が困難となった場合、一時的に保育を行う事業であり、就学前の子どもの数は減少傾向にあるが、一時預かり事業に対するニーズは高く、幼稚園型（認定こども園・幼稚園）の利用実績は増加傾向にある。 今後も子育て世帯の負担軽減のため実施が求められる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	一般形（保育所）では、保育士の配置が困難で、利用数が減少傾向にあるものの、事業に対するニーズは高く、特に幼稚園型（認定こども園・幼稚園）の利用実績は増加している。補助単価も毎年増額されているので、国の動向等を見ながら補助金を交付し、事業運営の安定を図る。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	放課後健全育成事業
-----	-----------

総事業費	33,237 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童を健全に育成するとともに、児童が放課後、安心して過ごせる場所を提供することにより、保護者が安心して仕事ができる。
事業の実績 と 成果	取組内容	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校児童の放課後の安全確保と遊び及び生活の場の提供のため、放課後児童クラブを運営している法人等へ委託し、これらの児童を健全に育成する。
	成 果	市内7か所で児童クラブが開所され、保護者が安心して仕事ができる環境が整っている。各児童クラブ間の情報交換会を兼ねたネットワーク会議が、コロナウィルス感染拡大防止対策のため開催できなかった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市街地に開設している児童クラブは、希望者が多く、大字の児童クラブは登録数が20名を下回る ところが多い。今後、児童クラブがない校区の対応も含め、小規模児童クラブの検討が必要。ま た、榕城児童クラブの移転について関係各課と協議を行う。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	児童を健全に育成するとともに、児童が放課後、安心して過ごせる場所を提供することによ り、保護者が安心して仕事ができる事業である。児童数は減少傾向にあるが、ニーズは高いと思 われる。 新型コロナウイルス感染症の感染宇内防止の観点から行われた学校の全国一斉休業において も、受入れ先の一つとして対応がなされた。 一方で新たな「密」を生み出すとして議論になった。各クラブは細心の感染防止に努めながら 運営しているが、引き続き慎重な対応が求められる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校児童の放課後の安全確保を前提とし、2名の指導 員の下、遊び及び生活の場を与え、これらの児童を健全に育成する（児童クラブ数：7か所）。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	地域子育て支援センター事業
-----	---------------

総事業費	9,002 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		気軽に相談できる場を提供することにより、育児不安等を解消する。 集いの場や親子のふれあい遊びを提供する。
事業の実績 と 成果	取組内容	子育て相談員2名を配置し、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
	成 果	少子化・核家族化の進行や、また、地元に親族がいない転入者等、育児不安や支援を必要とする家庭からの相談件数が増加傾向にある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	子育て支援センター内の業務については、移設に関する協議も含め、環境改善の検討が必要。 ほかに、療育支援に係る事業について子育て世帯包括支援センター設置に向けて関係課と検討する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	気軽に相談できる場を提供することにより、育児不安等を解消するとともに、集いの場や親子のふれあい遊びを提供する事業であるが、リピーターも増え、定着してきている。 介護や療養などの理由でフルタイムの相談員の欠員が生じており、パートタイム、日雇いの相談員で対応している。対応にあたった相談員は、センター設立当初から関わっている方々であるため運営に支障はなかったものの、今後の更なる安定的な運営に向けて、人材確保が急務である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	地域全体で子育てを支援する基盤の強化を図るため、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	ファミリー・サポート・センター事業
-----	-------------------

総事業費	220 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		安心して働くことができる。 育児の不安感を解消することができる。
事業の実績 と 成果	取組内容	地域において「育児」の援助を行う者と援助を依頼する者が行う相互援助活動を支援する。
	成 果	援助を必要としている方が安心して利用できる制度として定着しつつあり、送迎等の援助活動が多かった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	安心して預けられるという声が寄せられる一方、援助を行う方については、他人の子どもを預かることへの抵抗感から会員登録が進まない状況がある。10月から幼児教育・保育の無償化により、子育てのための施設等利用給付事業の対象施設となったが、保育の必要性がある利用者がいなかったため、無償化の実績はなかった。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	育児の援助をする者（まかせて会員）と援助の依頼をする者（おねがい会員）のマッチングを行う事業であるが、まかせて会員の固定化・高齢化がみられ、会員増の取組が求められる。 預かりの場を子育て支援センターで行うことで、まかせて・おねがいのそれぞれの会員の安心感が増すようであるので、今後も適切なマッチングとともに、預かりの場の選定を行い、「あずけやすい」「あずかりやすい」環境整備に努めたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	地域全体で子育てを支援する基盤の強化を図るため、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	児童虐待防止対策事業
-----	------------

総事業費	190 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	地域における子育て支援体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童虐待が起こらない環境を整備する。
事業の実績 と 成果	取組内容	主に小学5年生と中学1年生、その保護者、学校関係者を対象に、県助産師会の出前講座による「いのちの授業」を開催し、生命の誕生、いのちの大切さを学び、児童虐待防止へ繋げる。
	成 果	受講した児童生徒からも「親への感謝」や「生きてるだけで100点満点」へ感動した等の感想がよせられ、先生方にも好評で、継続を望む声があった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	児童虐待防止事業として実施しているが、「いのちの授業」に関しては母子保健事業として、健康保険課保健師と県助産師が連携し、実施する方がより充実した取組みになるのではないかとと思う。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	教育及び保健機関と連携しながら、児童本人及び児童を取り巻く環境への働きかけと各事案への適切な対応を行うため、本事業の継続的な実施が必要であるが、その内容等については、社会情勢や関係機関との調整の中で、適宜見直し工夫しながら実施していくことが求められている。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	教育及び保健機関と連携しながら、児童本人及び児童を取り巻く環境への働きかけと各事案への適切な対応を行うため、本事業の継続的な実施が必要であるが、その内容等については、社会情勢や関係機関との調整の中で、適宜見直し工夫しながら実施していく。 また、今のところ努力義務ではあるが、子ども家庭総合支援拠点の設置に向け体制を整えていく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明